



2021 年度
第 11 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
体育市民連帯論評
国家人権委の
大学スポーツ勧告を直ちに履行せよ

2
体育市民連帯声明書
スポーツ学暴事件、
2次・3次加害行為を
直ちに止めなさい！

3
体育市民連帯声明書
「崔チョルウォン」は法廷
訴訟を即刻撤回し、アイス
ホッケー協会長辞任せよ！

4
「コロナ、選手保護」
北朝鮮東京オリンピック
不参加宣言... 南北
スポーツ外交難航

5
文体部、
海外スポーツ
産業報告書創刊
... 毎月発刊

大韓民国スポーツの
根本的変化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



GSR
Global Sport Industry Report
글로벌 스포츠산업 리포트



01 体育市民連帯論評 2021.04.07

大韓体育会、韓国大学スポーツ協議会、 教育部と文体部は国家人権委の 大学スポーツ勧告を直ちに履行しなければならない。

大韓体育会、韓国大学スポーツ評議会、教育部と文体部は国家人権委の大学スポーツ勧告を直ちに履行しなければならない。

国家人権委の職権調査と勧告（21年4月6日）は大学スポーツが変わらなければならないと突きつけている。

大学スポーツにおいて暴力的な統制をはじめとする人権侵害はいまだに憂慮される。

大韓体育会と韓国大学スポーツ協議会はスポーツ人権の守護者として、その役割と任務を忠実に行わなければならない。

各大学当局は徹底した管理監督と予防的措置を先行しなければならない。

人権委の勧告どおり、教育部と文体部はスポーツ人権保護と予防、増進のための各種事業を確立し、予算を支援し、大学スポーツが人権に配慮した構造や文化に換骨奪胎（訳注：新たな視点から再構成して作り出すこと）できるよう裏付けなければならない。

人権委の勧告が勧告にとどまらず、自らの主体が積極的に実践できるように人権委も後続の措置を講じなければならない。

2021.04.07
体育市民連帯

02 体育市民連帯声明書 2021.04.07

スポーツ学暴事件、 2次・3次加害行為を直ちに止めなさい！

「反省している」という言葉が突然、学校暴力被害者を告訴するというバレーボール選手李ダヨン、李ジェヨン姉妹は人としての礼儀すらない2次加害行為を直ちに止めることを望む。

本人たちが書いた謝罪文をしっかりと再確認して欲しい。

「分別が無かった過去に犯した無責任な行動のために多くの方に傷を与えた。頭を下げて謝罪する」

（李ジェヨン謝罪文）

「被害者が負ったトラウマに深い罪悪感を持って、今後自粛して反省する姿を見せる」

（李ダヨン謝罪文）

単に、怒った民心を静めるための見せかけの行為だったというのか？！

いくつかの事実関係を正すという趣旨で告訴をするという行為は被害者を脅迫し、2次、3次加害行為を行うものである。本人は加害者だったので覚えていないのか、過去の記憶を思い出してみることを望む。

口を合わせたように同じ加害者の言い訳の言葉は「覚えていない」。

被害者は一つ一つの記憶が骨の関節をほじくるような痛みとして記憶して生きていたのだ。さらにそれを煽る行為は止めなければならない。これはスポーツ界を自ら侮辱する行為である。

多くの国民がスポーツ界の暴力に非難をし、強力な処罰を要求している姿が見えないのか？ 選手生活をしながら自分たちの背景を権力的に活用し、被害者にした行為は決して子供のいたずらではなかったし、それは明らかに暴力であり人権侵害だった。

構造的な問題と、その当時の国家的状況、民心が、今のようにスポーツ人権が深く台頭され実行されていなかった状況だったのなら、今はすぐに必ずスポーツ界が人権に配慮して変化しなければならず、もはや見過ごしてはならない。

悔いて反省の心があるのなら、今すぐにこれ以上、学校暴力の被害者に向けた告訴進行を停止しなければならない。現在の姿まで成長しながら、体験した被害者の苦痛に再び暴力を加える行為であり、口を閉じようとする行為は決して容認されてはならない。

2次、3次加害行為を直ちに止めなさい！

2021.04.07
体育市民連帯

03 体育市民連帯声明書 2021.04.09

承認拒否された元祖パワハラ「崔チョルウォン」は法廷訴訟を 即刻撤回し、アイスホッケー協会長辞任せよ！

体育市民連帯は昨年12月15日、声明書を通じて崔チョルウォンアイスホッケー協会長候補の辞退を要求したことがある。

社会的物議を起こした人は役員となることのできない協会定款を正面から違反したためである。国民を衝撃に陥れた「殴り代暴行」を起こし、映画「ベテラン」の素材としても活用された事件を起こした張本人がフェアプレーを生命とする体育長になろうとするという事実は、国民を衝撃に陥れた。

国民情緒とはかけ離れたアイスホッケー協会長選挙に政界でも、反社会的・非倫理的な行為で刑事罰を受けた人が体育長になることのできない「崔チョルウォン禁止法」を発議することになった。結局、大韓体育会も「社会的物議」を理由に崔チョルウォン会長候補の承認を拒否した。ところが崔チョルウォン会長候補が大韓体育会の承認拒否に不服として本案訴訟と仮処分申請を提起したという。

金があれば暴力も正当化できると不法を犯した人間が、当人のアイスホッケー協会長職を勝ち取るために法の通りに訴訟するというのはコメディだ。まさにフェアプレーと公正性を生命とするスポーツを導く長として国民皆が知っている「社会的物議」を起こした人を座らせるというのは、国民を冒瀆する行為である。

2020年基準のアイスホッケー連盟に所属する選手登録現況を見ると、13歳以下が占める割合は約70.8%を占めており、16歳以下(16.4%)、19歳以下(4.6%)、大学(4.3%)失業チーム(3.6%)である。このように、96%以上が学生選手たちだ。彼らが会長旗大会に出て、社会的物議をかもした会長から、果た

して何を学ぶのだろうか？ 金があれば何をしても罪にならず正当化されるという、誤った社会倫理意識しか学べないのではないだろうか？

もちろん、不毛地に等しい国内アイスホッケー状況が劣悪な中で会長に出ようとする人がいない状況で、崔チョルウォン代表が公約に掲げた専用施設の拡充、クラブチーム運営とリーグ運営、実業チーム創立、ユースアイスホッケーの発展とエリート学校支援などを現場のアイスホッケー人が無視できない現実を知らないわけではない。しかし、崔チョルウォン代表が本当にアイスホッケーのためを考えるなら、本人が直接会長に出ずに、社会的物議をかもしたことについて謝罪する気持ちで財政後援だけすれば良い事だ。体育市民連帯は大韓体育会の承認拒否を尊重する。もし崔チョルウォン代表が会長になれば、アイスホッケー協会だけでなく、他のスポーツ種目長が選任されるときにも「社会的物議」なんて何の関係ないと誤った信号を与えることになるという点で、必ず再考しなければならない。崔チョルウォン代表は大韓体育会を相手にした訴訟を直ちに停止し、辞退せよ！

2021. 04. 09
体育市民連帯

04 スポーツ朝鮮 2021. 04. 06

「コロナ、選手保護」北朝鮮東京オリンピック不参加宣言... 南北スポーツ外交難航



北朝鮮が東京オリンピック不参加を電撃宣言した。北朝鮮は5日、体育省ホームページ「朝鮮体育」を通じて「北朝鮮オリンピック委員会は総会で、世界的な保健危機的状況から選手を保護するために、委員の提案に基づいて第32回オリンピック競技大会に参加しないことにした」と発表した。北朝鮮オリンピック委員会は先月25日、画像方式で行われた総会で東京オリンピック不参加を決定した。東京オリンピックを機に南北単一チームの構成などスポーツ外交を通じて南北対話の突破口をもう一度設けようとしていた政府の努力が失敗に終わる危機だ。ムン・ジェイン大統領は3・1節記念の辞を通じて「今年開かれる東京オリンピックは日韓間の、南北間の、日朝間そして朝米間の対話の機会になる。

韓国は東京オリンピック開催の成功のために協力する」としながら期待を表わしていた。

ムン大統領は2019年9月にニューヨーク国連本部でトーマス・バッハ国際オリンピック委員会（IOC）委員長に会った席で東京オリンピックの南北共同出場、2032年夏季五輪共同誘致の意思を直接明らかにし、スポーツを通じた南北和合と協力への支持を要請した。

北朝鮮との対話の窓が閉じるたびにスポーツは、強く閉じた窓を開ける役割を果たしてきた。2018平昌冬季オリンピックと2018年ジャカルタ・パレンバンアジア大会、身体障害者アジア大会での南北単一チーム、開会式の共同の入場などを成功させてきた。IOCも2年前の2019年3月の執行委員会で東京オリンピック開会式の南北合同入場と女子バスケットボールと女子ホッケー、柔道（混成チーム）、漕艇など4種目で単一チームの構成を承認し、南北の和合を支持した。東京オリンピックを控えて女子ホッケーなど、

いくつかの種目はオリンピッククォーターを確保できず、種目の特性上、南北両方の強い柔道混成チームでのみ単一チームの可能性が予想されていた状況で北朝鮮が電撃的に不参加を宣言した。

北朝鮮は東京オリンピックに参加する自国選手をコロナ 19 から保護するという名分を掲げた。現在、北朝鮮はコロナ 19 の拡散を防ごうと国境を封鎖し、住民の国内外の移動も禁止した。

北朝鮮の不参加宣言により今後の南北対話、スポーツ外交も難航が避けられない見通しだ。南北が一緒に目標とした 2032 年ソウル・平壤五輪誘致もすでに難関に直面した。去る 2 月 IOC がオーストラリアのブリスベンを優先交渉開催地として指名し、共同誘致の可能性が非常に遠くなった。ソウル市が去る 1 日 2032 ソウル・平壤オリンピック共同開催のビジョンとコンセプトを盛り込んだ誘致提案書を IOC 未来誘致委員会に提出し、「最後まで終わらない」という意志を燃やしているが、共同オリンピック誘致のパートナーである北朝鮮の非協力とコミュニケーション断絶は最大の悪材料だ。

一方、北朝鮮の東京オリンピック不参加発表直後に大韓体育会は「政府と大韓体育会は今回の東京オリンピックが朝鮮半島の平和と南北間の和解協力を進展させるきっかけになることを望んできたが、コロナ状況によりそれができなくなったことについて残念と思う」という立場を明らかにした。

東京 2020 組織委員会も戸惑いを隠せない様子だ。日本は北朝鮮の不参加宣言をコロナ危険だけでなく、政治的な意図が込められた動きと見る雰囲気だ。組織委の関係者は 6 日、毎日新聞とのインタビューで、「現時点では何の情報もないので何も言えない」としながらも「政治的理由である可能性もありそうだ。スポーツが政治的に利用されているのであれば良くないと思う」という立場を伝えた。

出典：<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202104070100044010002591&servicedate=20210406>

05 聯合ニュース 2021.04.06

文体部、海外スポーツ産業報告書創刊... 毎月発刊



文化体育観光部は韓国スポーツ政策科学院と海外スポーツ産業報告書を創刊したと 6 日、明らかにした。

海外スポーツ産業報告書はスポーツ産業関連の国別政策、海外市場の動向をまとめた刊行物である。

▲海外スポーツ産業の現況▲国別スポーツ産業政策▲海外スポーツ企業▲統計で見る海外スポーツ産業▲海外スポーツ産業の最新ニュースなどで構成されている。

創刊号では新型コロナウイルス感染症（コロナ 19）拡散の問題により、全世界のスポーツ産業の売上高と雇用が減少して、プロのスポーツも縮小運営しているという点を紹介した。

また、自宅での運動（ホームトレーニング）などの非対面スポーツ産業は成長の勢いを見せているという点を扱った。

毎月初めに発刊されるこの報告書は文体部（www.msct.go.kr）、国民体育振興公団（www.kspo.or.kr）、韓国スポーツ政策科学院（www.sports.re.kr）ホームページで確認することができる。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210406035800007?input=1195m>

06 週間スポーツ関連ニュース

文体部、ドーピングのないきれいなスポーツ実現のための意志集める

<http://www.sportsworldi.com/newsView/20210408507521>

「スポーツマーケティング国務総理賞」受賞した自治体のずさんな補助金管理

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5155276&ref=A>

大韓体育会、スポーツ有望選手第1号後援協約式開催

<http://www.sportsworldi.com/newsView/20210410502987>

スポーツで広がった米中対立... オリンピックの政治学

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5158030&ref=A>

スポーツ民族主義「グクポン」や成績至上主義が後退

<https://news.imaeil.com/InnerColumn/2021040418293716694>

仁川市体育会、専門講師活用して12日から年末までスポーツ人権教育

<http://www.incheonilbo.com/news/articleView.html?idxno=1088652>

済州島体育会、種目団体スポーツ大会・イベント支援事業2次公募審議

<http://www.headlinejeju.co.kr/news/articleView.html?idxno=446580>

「遊びながら体力増進」... 廃校を活用した学生スポーツセンター初の開所

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210406101200061?input=1195m>

光州市教育庁「出前の学校運動部スポーツ人権教育」の実施

https://www.pressian.com/pages/articles/2021040910422717076?utm_source=naver&utm_medium=search#ODKU

和順郡、総合型スポーツクラブ支援本格育成

<https://www.jnilbo.com/view/media/view?code=2021040814401089008>

【コロナ19】金海西部スポーツセンター、利用客確定判定に先制的対応

https://ilyo.co.kr/?ac=article_view&entry_id=397986

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com